

北陸地方整備局河川部
千曲川河川事務所
信濃川河川事務所
信濃川下流河川事務所

記者発表資料
平成 26 年 1 月 6 日

取扱い：発表をもって解禁

「信濃川水系河川整備計画」を策定しました

この度、「信濃川水系河川整備計画【大臣管理区間】」を策定しましたので、お知らせします。

本計画は、信濃川水系（大臣管理区間）の今後おおむね30年間の具体的な河川整備の目標や河川整備の内容を示すものです。

平成20年度から計画策定作業に着手し、これまで、骨子、原案、案と段階毎に住民、学識者等の意見聴取を行い、この度、関係知事意見聴取を踏まえ策定したものです。

今後は計画に基づき、戦後最大規模の洪水に対して災害の発生防止又は被害の軽減を図ることを目標として、築堤、河道掘削、大河津分水路の改修など河川整備を実施します。また、計画規模を上回る洪水の発生を踏まえた危機管理体制の強化、多自然川づくり、施設の老朽化対策などを実施します。

- 信濃川水系河川整備計画は、北陸地方整備局ホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/shinano-plan/>

なお、「信濃川水系河川整備計画案」について、河川法第16条の2第5項に基づき、関係県知事の意見聴取しており、これについても、あわせて北陸地方整備局ホームページに掲載しています。

同時発表

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
長野市政記者クラブ
長野県庁会見場
新潟市政記者クラブ
新市政記者クラブ
長岡市記者会
長岡地域記者会
三条市記者室
十日町市記者クラブ

問い合わせ先



国土交通省

（河川整備計画全般に関すること）

国土交通省 北陸地方整備局

河川部 河川計画課長 石井 陽

（代表）TEL:025-280-8880

（上流部に関すること）

千曲川河川事務所

副所長（技術） 山田 幸男

（代表）TEL:026-227-7611

（中流部に関すること）

信濃川河川事務所

副所長（技術） 白井 正己

（代表）TEL:0258-32-3020

（下流部に関すること）

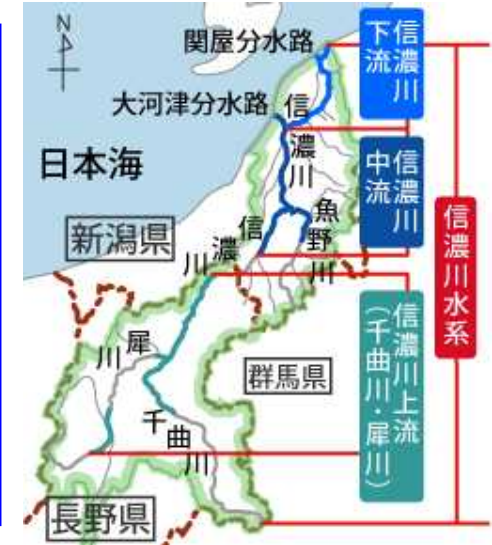
信濃川下流河川事務所

副所長（技術） 増田 孝幸

（代表）TEL:025-266-7131

信濃川水系河川整備計画の概要

- 河川整備計画とは
平成20年6月に策定した「信濃川水系河川整備基本方針」に基づき、
今後おおむね30年間の具体的な河川整備の目標及び工事の実施に関する事項を示す法定計画
- 河川整備計画の対象区間
信濃川水系における国土交通大臣の管理区間を対象【右図参照】
- 河川整備計画の目標
戦後最大規模の洪水に対し災害の発生の防止又は軽減を図る河川整備を実施
【想定する洪水規模】上流部(昭和58年9月洪水と同規模の洪水)
中流部(昭和56年8月洪水と同規模の洪水)
下流部(平成23年7月洪水と同規模の洪水)



図中の太線部が河川整備計画の対象区間

■河川整備計画の主な内容

上下流バランスを考慮した治水対策の実施

信濃川水系は流路延長が長いことから、上下流・本支川のバランスを確保しつつ、県境区間や支派川については関係する河川管理者と連携を図り、信濃川水系全体として段階的かつ着実に治水安全度が向上するよう築堤、河道掘削等の整備を実施。

大河津分水路の改修

大河津分水路より上流側に位置する中流部や上流部など信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、大河津分水路の改修を優先的に実施。

既設ダムの有効活用

大町ダム等の既設ダムを有効活用し、新たな洪水調節機能を確保することについて、調査・検討の上、必要な対策を実施。

計画高水位等を超える洪水への対応

災害発生時の水防活動や応急復旧活動を円滑に実施するため、河川防災ステーションの整備や排水ポンプ車、照明車等の災害対策機械の導入。また、二線堤や霞堤等の既存構造物を活用した氾濫被害の軽減対策等の検討を実施。

水防、避難に資する適切な情報を迅速かつ確実に伝達するため、洪水ハザードマップの支援や水位予測情報等の提供を実施するとともに地域における防災教育の支援等の支援。

多自然川づくりの推進

堤防の整備や河道掘削等の実施にあたっては、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、施工形状・方法を工夫。

適正な維持管理の推進

サイクル型河川管理によって効率的・効果的に河川管理を実施。施設の老朽化対策を効率的に進めるため、必要に応じて補修・更新を行い施設の長寿命化を図る。